



みちの会だより

<http://www.aichi-michinokai.com/>

発行責任者 中村 修見

明けましておめでとうございます。

令和という元号を聞いてからまるまる5年。はやいものです。

新年あけて 学習会、全体会&新年会、フォーラムなど続きますが、2024年も会員同士親睦を深め、切磋琢磨しあいながら、みちの会という輪の中で頑張っていきましょう。

◆Zoom ミニ学習会

日時：7月13日 14:00~16:00

場所：知多市市民活動センター 参加者：12名（Zoomにて参加者1名）



コロナ禍で一番変わって進化したことといえば、ネットを利用した会議ではないでしょうか？

現在、会議や講演会などはZoomでやっているところも多いはず。Zoomを活用したいという方で集まって地域福祉サポートのための協力のもと開催。

<目標>

- ① オンライン会議の参加に対する苦手意識を克服する。（携帯さえあれば大丈夫）
- ② オンライン会議を開き、ホストとして運用できる。

会員同士わからないところは、お互い聞き取りしながら基本操作を勉強しました。「覚えなくては！！」というやる気のもと、お互い聞き合いながら受講しました。

◆Zoom 学習会のその後・・・

- ・Zoom 会議の開催：第5回運営委員会（9月26日）をZoomにて開催。

ホスト：石垣 ゲスト：運営委員

- ・オンライン配信講演会に参加。

※あいち男女共同参画のつどい（10月23日）会員9名参加

講演：「働く女性の課題と現実

～ジェンダーギャップを乗り越えるために知っておきたい10のこと～

講師：村井 真子 氏（社会保険労務士、キャリアコンサルタント）

※フォローアップセミナー（12月12日）会員8名参加

講演：「経済学からみた男女共同参画」

講師：山本陽子氏（名古屋市立大学大学院経済学研究科教授）

☆来年以降の東海市公募事業にも繋がっていくと思っています☆

◆プロジェクト事業

「SDGs と私たち V ～食べ物循環と SDGs～」

○ 学習会「とりのさと農園」 日時：10月28日（土）13:30～15:30

場所：イーブルなごや2F生活科学研究室 15名参加

会員である秦さんに講師をしてもらい、食について勉強会を開催。

有機農業とSDGsについて講演をやらせていただきました。参加者の皆さんが熱心にお話を聞いてくださり大変有意義な時間となりました。私は有機農家の視点から、「私たちの社会のあり方の中に、見えない力の勾配が存在していないか」という問いかけを中心に、消費者の持つ消費力と社会的影響についてお話させていただきました。私自身も、改めてSDGsを考える貴重な機会をいただきました。ありがとうございました。（講師：秦 由岐穂）



○「中部有機リサイクルKK」見学 日時：11月27日（月）14:00～16:00 10名参加



捨てられる食品をリサイクルする（¥25/1kg）よりも、産業廃棄物として処分する（名古屋市の場合¥20/1kg）方が安いので、リサイクルが進まない社会構造を再確認しました。

朝 届いた食品が、夕方には乾燥飼料になっているという早さと、季節によって届く食品が違って、品質を一定に保つ工程に、感心しました。

（参加者：早川 純子）

○映画「食の安全を守る人々」上映（作：一般社団法人心土不二） ウィルあいちフェスタにて

日時：12月9日（土）13:30～16:00

場所：ウィルあいち大会議室 参加者 50名

・映画は「子どもたちに安全な食を」と思う人々の想いと真摯な活動を描き、訴えました。



【参加者の声】（アンケートより）

- ・今の食の問題をできるだけ多くの人々と共有しなければならない
- ・行政は食料自給率の改善、特に「米」の安定供給に取り組んで欲しい
- ・食品ロスを減らすよう、地域ぐるみの努力を目指していきたい



☆このプロジェクトを企画して

昨年、名古屋市内の小さな映画館で、本日上映した映画を鑑賞した後、学校給食に有機農法野菜をと活動する女性たちが山田正彦氏と話し合いをする場に招かれました。50年以上前から、喘息等アトピーの3人の子供の為に、無添加食品、有機農法野菜等の購入を続けていたこともあり、みちの会の秦さんが有機農法生産者だと知って、SDGsVとして「食の安全」を森田さんと取り組むことになりました。途中、いろいろなトラブルに悩まされながら、森田さんのご協力でフェスタを迎えることができました。パワフルな森田さんの行動力や中村会長と役員の皆様のご理解お力添えで、実現できたことを心から感謝申し上げます。（企画・運営：油田 淑子）

ウィルあいちフェスタでの発表&映画上映会（食についてのアンケート結果）については後日ホームページに掲載予定です。

「東海市公募事業への挑戦！！」

見事 採択 決定！

まちづくり協働推進事業は、NPOなどの市民活動団体と市が協働で行う事業です。

その事業の一つである「男女共同参画啓発事業」に会員である岡本一美さんと片桐真砂子さんが企画書を作成し提出しました。一次審査は書類選考→二次審査は8月24日（木）午後2時から 東海市民活動センター大会議室で行われました。審査の結果は見事採択されました。

※提案の独創性及び効果性、団体の事業遂行能力等について高い評価を得た（審査員からの意見）パートナーシップ宣誓制度という東海市としても特に重要視しているテーマを切口にした点が非常に良かったとのことでした。※詳細は <https://www.city.tokai.aichi.jp/kurashi/1002017/1002041/1002044.html> 参照。

この事業は来年度から行われます。会員同士、みなさんでパートナーシップ宣誓制度を勉強していきましょう。

◆ブロックの活動報告

ODブロック 学習会「LGBTQを考える」

日時：10月27日（金）15：00～16：30 場所：石ヶ瀬会場 参加者：21名

学習会ではグループワークで資料を見ながら、LGBTQの今について予備知識を得て座談会に備えました。

座談会「小嶋小百合さんを囲んで」では、小嶋さんの生い立ちからLGBTQとして生活するようになるまでを、そして今を語っていただきました。

今回の学習会は小嶋さんを囲んで気楽に意見交換を行えました。

知らないこと、知りたいことをざっくばらんに質問して、小嶋さんの言葉で赤裸々に答えていただきました。

OCブロック こども食堂視察

日時：8月11日（金）11:30～14:00 場所：南粕谷ハウス 参加者：5名

・祝日に行われている子ども食堂に参加してきました。地元の方の和気あいあいとしたムードの中、美味しいカレーをいただきました。10年を迎える南粕谷ハウスを振り返り、お祝いムード満載でした。

・東海市の公募事業についても話し合いをし、8月24日の審査に備えました。

◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇・—・◇

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」

期間だったのはご存じですか？

各地でシンボルカラーであるパープル色にライトアップされていました。愛知県美浜町にある野間灯台でも行われていたので見に行ったのですが、17時過ぎに沈む夕日とともにパープルライトアップされた野間灯台は本当に綺麗でした。

「みはま男女共同参画をすすめる会」が取り組みました。みちの会の美浜町在住者を中心としたメンバー構成です。現在は14名の会員。町内を対象として啓発事業や学習会を行い、会員の親睦・交流をしている団体です。



みちの会紹介リーフレット完成！！

その年度に見合ったものを「みちの会紹介資料」として作成しようと6月に運営委員会で協議。リーフレット作りがスタートした。

～リーフレット作成の歩み～

- 6月 体裁はリーフレット型で検討。中身をどんなものにするか。
- 7月 原案、試案には内容をしっかり検討。
- 8月 折りの種類でデザインが変わる。どんな折りにすると見やすいかを検討。
「A4 巻三つ折り」の折り方を採用決定。色合いについても検討。
- 9月 中身をどのようにしていくかを協議。「申込書」は添付。内容について委員の意見集約。(比較提案)
- 10月 原案を意見交換・・・第3回全体会に配布できるようにしたい！！
表紙に、地域開発みちの会～男女共同参画社会の実現を目指して～に変更。
「みちの会の魅力」を20文字以内で報告(11/5まで)

みなさんなら「みちの会魅力」(20字以内で)どのように表しますか??



運営委員で考え、少しでも活用できるようにと考えぬいたリーフレットです。
ぜひとも有効活用してください。

みちの会の今後の予定

■学習会

内 容: 多様な性を認め合う取組「レインボープロジェクト」の実践から伝えたいこと

日 時: 2024年1月6日(土) 14:00～15:50

会 場: 東海市立市民活動センター大会議室 AB

対象者: 地域開発みちの会会員と一般の方

■第4回全体会&新年会&お助けフリマ

日 時: 2024年1月25日(木) 11:30～

会 場: 南知多町「海のみさと」

■第35回 地域開発みちの会フォーラム

パネルディスカッションテーマ: 「私は行動する ～人生の分岐点、前を向いて～」

日 時: 2024年2月17日(土) 13:30～16:00

会 場: 南知多町総合体育館 サブアリーナ

《お知らせ》

※次年度書類作成のため、退会の申し出は2月末までに書面にて各運営委員に提出してください。

●次号は、令和6年3月発行です。